

# 中部日本ニュース

シネスコ版

店名) = 2-ス No 318  
別巻) = 2-ス No 186  
中) = 2-ス No 199  
菓子作子器協 山口 -181-

No. 523

39. 1. 24

## 一、江戸っ子のがまん会

東京神田の商店会が主催の「人造り寒中ガマン大会」なるものが「大寒」の二十一日神田明神境内で開かれました。  
裸の参加者たちは社前で平和祈願。そして神社の手洗場の中に氷を入れ十分に冷た水をかぶろうというもの。その日は折悪く? コヨミどりの寒い日、だが元気の良い裸ん坊達は涼しい顔で水をあびていました。

## 一、マンモストラランス輸送作戦

—三— 重

このほど総重量二百四十トンという日本一のマンモス・トランスが完成しました。これは三重県桑名の変電所に使われるものです。

しかしこれを運ぶのが大変です。常盤線多賀駅から桑名まで五百五十キロ。特別の貨車や自動車を仕立て、しめて輸送費三千二百万円也という大輸送が行われました。

アイモ風土記

## 一、伸びゆくミカン村

—静— 岡

静岡県庵原は、指折りのミカンどころ。恵れた気候は果樹の適産地として村人の生活を支えて来ました。だがこうした部落にも暮末の飢饉以来村人の困窮は一途をつるばかり。

当時二宮尊徳の遺風を受けつぐ人が居て広く報徳の道を広げて行ったのです。

こうした土地柄だけにここではいち早く新生活運動が生れました。夜明けとともにひるがえる農休の旗。村人達にとって今日は家族揃って休養する日なのです。図書館での読書、こうして住民の文化生活は高められて行くのです。

一方青年を中心とする「のんびる会」は、十九才の青年男女の集い。今日では新しい村造りの中核団体として親しまれています。

やがて成人式を迎えた十五日。

各地から集って来た若者達。

やがて彼等は明日への明るい村造りに貢献して行くのです。

6240R

3080R

1970R

1200R